

公募型プロポーザルに関する質問および回答について

	質問	回答
1	「検証業務」との連携・調整にあたり、当該業務の作業項目をご教示ください(どのタイミングでどのような資料を委員会に諮るのかを想定するため)。	<p>検証業務の作業項目としては以下を想定しております。ただし、今後の当該業務の協議結果を踏まえて変更になる場合があることを申し添えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新の地盤図情報や県が提供するデータを基に、阿蘇地域の最新の水循環の状況を再現したモデルを構築する。 ・観測データ等との比較によるモデルの再現性の確認を行い、必要に応じてモデルを修正する。 ・上記モデルにより、阿蘇地域における水田及び森林（草原については適宜）による地下水涵養状況の推計を行う。
2	委員会の時期を概ね想定されているようでしたらご教示ください。	<p>公募時点の各委員会の開催時期の目安は以下のとおりです。ただし、特に第2回目以降の開催時期については、第1回目の審議状況を踏まえて適宜更新していただく必要があることを申し添えます。</p> <p>第1回目：概ね7～8月頃 第2回目：概ね10～11月頃 第3回目：概ね1～2月頃</p>
3	令和7年度からの継続業務であり、委員は基本的には同じ有識者を想定しておりました。委員候補の提案とありますが、入れ替え、追加等の必要性があるということでしょうか。差し支えなければ理由をご教示ください。	<p>令和8年度については、令和7年度に御就任いただいた各委員の今年度のご都合等も踏まえつつ、また、水田及び森林の水源涵養機能の指標策定を新たに検討するため、必要に応じて委員の変更も検討したいと考えております。</p>
4	委員への謝金と旅費の金額をご教示ください(見積もり作成のため)。	<p>旅費及び謝金については、以下の「旅費・謝金」を参考にご検討ください。</p> <p>○委員旅費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外在住の委員の場合、1名につき10,800円程度の前泊があることを前提とし、東京—熊本往復の旅費を目安とすること。 ・県外在住の委員には、1日あたり2,200円程度、県内在住の委員には550円程度の旅行諸費を算出すること。 ・旅費試算の際に交通手段、前後泊の有無等について各委員に照会し、その結果を支払額に反映すること。

○謝金

・ 1日につき、10,500円（税控除有り）とする。